

(様式 1-3)

福島県 (田村市 (町村)) 再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	古道体育館耐震化促進事業	事業番号	(1)-4-1
交付団体	田村市	事業実施主体 (直接/間接)	直接		
総交付対象事業費	22,418 (千円)	全体事業費	195,590 (千円)		
再生加速化に関する目標					
避難中に開催できなかった田村市都路町における都路町民対象の各種大会の開催、レクリエーションやスポーツ振興の拠点として、その中心的な施設である古道体育館の耐震化を促進し、地区住民のスポーツ交流、各種文化行事の開催の場として、安心安全な施設の確保に努め、住民の帰還促進を図る。					
事業概要					
避難していた都路町住民の帰還を促進するため、住民の生活環境として不可欠な古道体育館 (建築年月日: 昭和 51 年 12 月 12 日、面積: 1250.4 m ²) の耐震化を促進するため、平成 26 年度に耐震診断を行い、その結果を基に、平成 27 年度に地質調査、測量調査、耐震実施設計、28 年度から耐震化工事を行う。なお耐震診断の結果、Is 値 (耐震指標) が極端に低くなった場合、耐震化工事と改築工事のコスト比を検討していくことを視野に入れる。 ※「田村市震災等復興ビジョン」(平成 24 年 3 月策定) の V. 1. (6) 教育環境の現状回復 において、田村市再生のために教育施設の耐震化等を進めることとしている。					
当面の事業概要					
<平成 26 年度> 古道体育館 耐震診断委託 <平成 27 年度> 古道体育館 耐震化工事実施設計委託・地質調査・測量調査 <平成 28 年度> 古道体育館 耐震化工事					
地域の再生加速化との関係					
避難指示解除準備区域および緊急時避難準備区域における避難指示解除後も、都路住民の多くが未だ帰還していない状況で、体育祭や行政区対抗スポーツ大会等住民が一堂に会する機会に支障をきたしているほか、古道体育館を拠点として活動していたスポーツ少年団もその存続が危ぶまれている。そのため、古道体育館の耐震化を進めることで、各種スポーツ事業を通じた住民の結束力強化が期待でき、スポーツ少年団に加盟している児童生徒の家庭の帰還の促進にもつながることから、地域の再生を加速化することができる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	